DIST.13「トクするCSS」

知って得するFlexboxの便利機能

2016年12月2日(金)



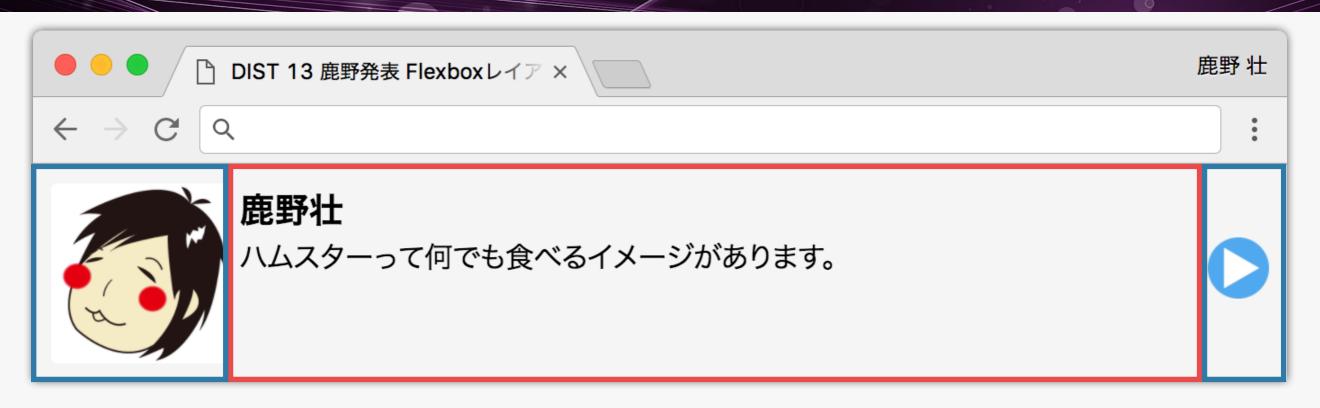
株式会社ICS 鹿野 壮

このレイアウト、どうやって作る?

固定幅と可変幅を組み合わせたレイアウト



中央だけ可変幅、両端は固定幅



固定幅

可変幅





floatプロパティでレイアウトする場合

7つのスタイル設定が必要 (´・ω・`)

親要素にclearfix

子要素にfloat:left

margin-left:

105px

width: 100%

margin-right: 35px



鹿野壮

ハムスターって何でも食べるイメージがあります。

margin-right: -105px

margin-left: -35px

Flexboxでレイアウトする場合

3つのスタイル設定でOK \(^o^)/

- ①親要素にdisplay:flex
 - 2flex-grow:1



鹿野壮

ハムスターって何でも食べるイメージがあります。

3flex-shrink:0

Flexboxでは ボックスの伸び縮みも 自由自在

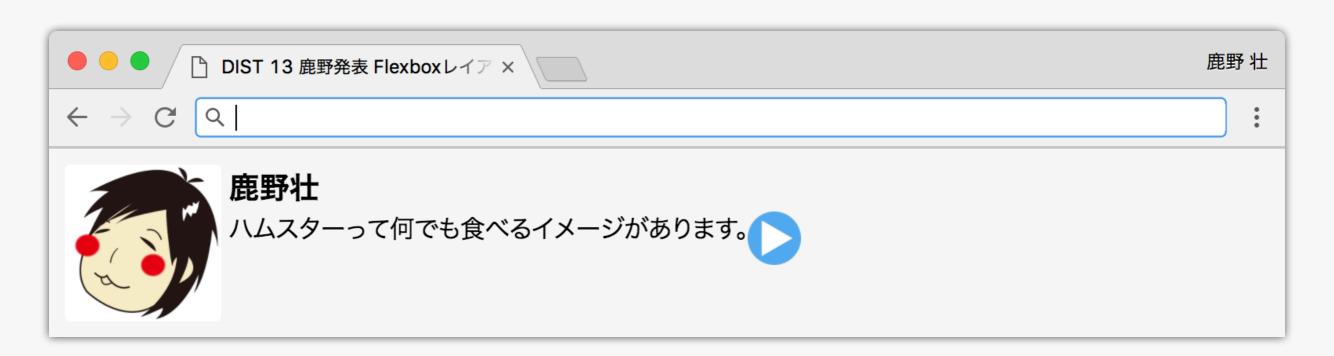
覚えてほしいポイント

ボックスを 伸ばしたかったらflex-grow 縮めたかったらflex-shrink

display: flexの指定

要素が水平に並ぶ

・矢印アイコンは画面右端に寄せたい



中央要素にflex-grow:1を指定

中央要素の幅が伸びる

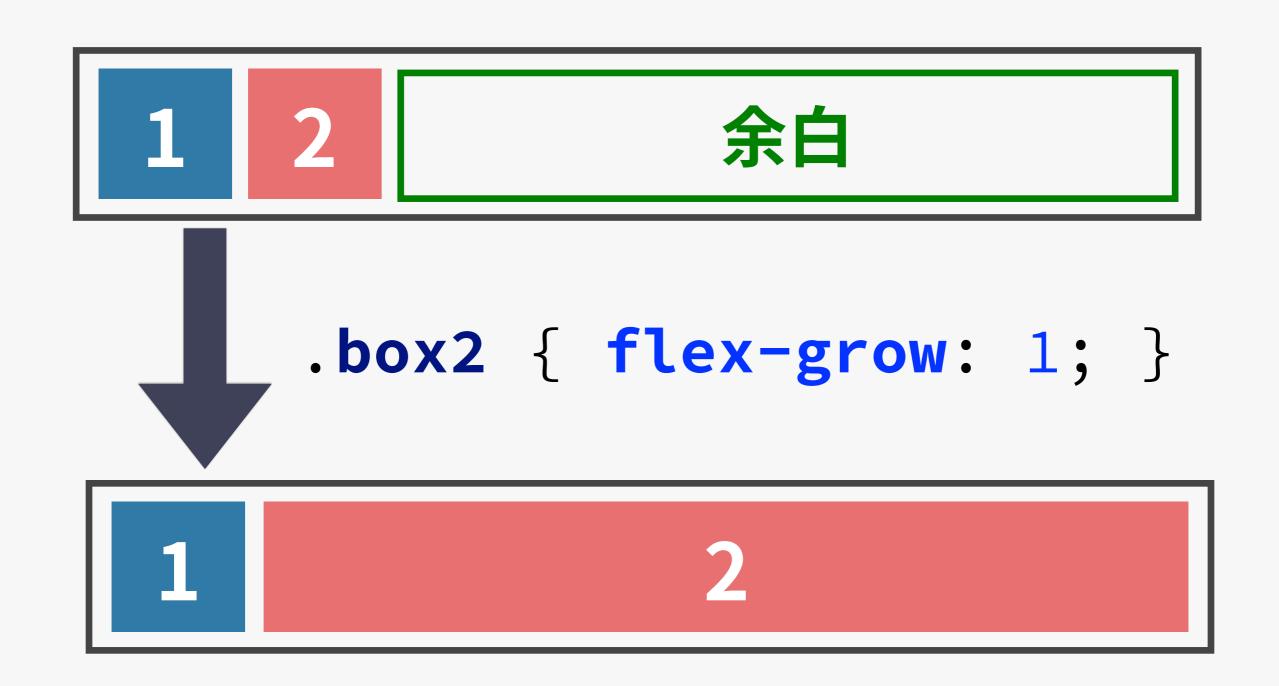
• 矢印アイコンが画面右端に移動する



flex-grow:1

flex-growはボックスの幅を伸ばす

親要素に余白がある場合のふるまい方



ウインドウを縮めたらボックスが縮む



ウインドウを縮めたらボックスが縮む



縮んだ



左右要素にflex-shrink:0



flex-shrinkはボックスの幅を縮める

ボックスが親要素の横幅をはみ出す場合のふるまい方

```
.box1 { flex-shrink: 0; }
.box2 { flex-shrink: 1; }
```

flex-shrinkの初期値は1

- ・初期値でボックスが縮む設定になっている
- ・縮めたくない要素には0を指定する



まとめ

- 1. Flexboxでボックスの伸縮を扱う flex-growとflex-shrinkプロパティがある
- 2. 使いこなすことで、固定幅・可変幅を 組み合わせた柔軟なレイアウトが可能

ご清聴ありがとうございました

サンプルファイル

https://github.com/tonkotsuboy/161202_dist13_kano

